

一人一人の命感じて

「生命のメッ
セージ展」開幕

大宇陀高生ら見学

宇 陀

宇陀市大宇陀上片岡
の日本教育学院高校
(旧市立田原小学校)

で15日、交通事故や犯
罪、いじめなどで命を
奪われた被害者の身長
と同じ高さに切り出さ
れた人型(メッセンジ
ャー)で命の重さを伝
える、全国巡回アートの
展「生命(いのち)の
メッセージ展(ミニ版
in上龍門)」が始まっ
た。18日まで。

「田原地区人権教育
推進協議会」(梶岡俊
之会長)と、地元の上
龍門地域まちづくり協
議会(森田隆三会長)
の主催。閉校した校舎
の再活用が始まったこ
とから、かつての地域
拠点での共通の体験で
絆を深める機会として
企画された。

同日午前には、命の
大切さを学ぶ「ライフ
クリエイトコース」の
ある県立大宇陀高校の
1年生69人が授業の一



熱心に「メッセンジャー」と向き合う大宇陀高
の生徒=15日、宇陀市大宇陀上片岡の日本教育
学院高

環で来場。30体のメッ
センジャーの生前の写
真や遺品の靴、家族が
つづったメッセージを
真剣な表情で見つめて
いた。また、午後から
は地域住民や同市と曾
爾、御杖両村の教育関
係者が見学した。

観覧無料。午前9時

から午後5時開場。会
期中、奈良市の交通事
故遺族でNPO法人K
ENTOの児島早苗代
表の講演や、同展を発

案したNPO法人いの
ちのミュージアムの鈴
木共子代表理事がモデ
ルの映画「0(ゼロ)
からの風」の上映会も
ある。

問い合わせは梶岡会
長、電話090(25
94)0888。